

**区民と区長の対話集会**  
**「さとことブレスト」(第1回)**

**令和4年10月22日(土)**

**杉並区都市整備部 都市計画道路担当**

## ◆第1回 さとことブレスト

開催場所：令和4年10月22日（土） 午後4時～午後6時30分  
場所：西荻地域区民センター（勤労福祉会館）第一、第二集会室  
参加対象者：西荻窪駅周辺まちづくり懇談会メンバー  
参加者人数：20名（応募者：30名）

## ◆事前企画 補助132号線（北銀座通り）を実際に歩こう！

さとことブレスト前に、みんなで実際の道路を歩いて、事前に話題を共有することで、ブレストの時間を充実させる目的で実施。

JR西荻窪駅北口から会場である西荻地区区民センターまで歩きました。

参加者人数：5名

## ◆ブレインストーミング

1班5人ずつA班からD班の4班に分かれて、前半と後半の二段階に分けてブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を前半後半1回ずつ回りながらブレストに参加。

○前半は、次の3点の内容を中心にブレスト

- ①まちづくりの関心事はどこにあるか
- ②道路について、どうあると良いか
- ③今後のまちづくりや道路整備の進め方

○アイスブレイク

日本や海外で最近行われている人中心のまちづくり・道路づくりの事例紹介。

- ・まちづくり・道づくりの最近の動向
- ・関連法規・制度
- ・全国の事例

○後半は、西荻窪のまちづくりと関連付けた道に関する、自由な考え・アイデアについてブレスト。

○ブレスト終了後、班ごとに発表。

○全体での意見交換

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

## 各班の発表内容

### ■ A班

- ・駅前整備が大事、人命にかかわる。
- ・公園がない地域ワーストスリーだったが誘致した
- ・日常的な勉強会や情報交換の場が必要
- ・残地の有効利用（災害対応やトイレなど）

### ■ B班

- ・前半の議論で最初に出てきたのが呪いという言葉。
- ・長年道路の話をしていて、呪いなのではという話からスタートした。
- ・西荻はどういった町だったかと認識するのが大事。
- ・南口飲み屋街は西荻らしくて区の財産、商店街も良いといった話もあった。
- ・気になるのは拡幅など、変えるなかで、面白くない町になるのが怖い。
- ・そこに対して変えられないのが前提になっている。
- ・プロセスの見える化が大事。
- ・ウォークアブルシティのサンプルを見て、西荻でやれるとしたら何が必要か。道路幅 16mだとできないだろうから一方通行にする必要がある。
- ・二本の道を一方通行にする。北銀座通りを北側一方通行にし、日産自動車から曲がってくる道を南側一方通行にするアイデア。現況の 132 号線の南側の住宅街に入るところ（後半のやりとりや付箋の絵からは南側から神明通りに入ってくる道路と推察）は拡げないといけない気がするが。ここで話し合われている問題はこの計画変更が行われることで解決すると話あわれた。
- ・他には、電柱がない方が良い。パークール、畑などで活用するのはどうかなどといった話があがった。

### ■ C班

- ・C班はまとめることなく意見を出し合うという形で進めていった。
- ・前半は道路・街・プロセスがどうあるべきかと話なのですがすけれども、荷捌きの車の話は多く話題に挙がりました。あり方、今後どうしていくかというところが大きいところである。
- ・自転車と歩行者についてどのように配慮していくかということも今後考えていかなければいけないこととして挙がった。
- ・全体的には歩く人の道であってほしいということ。ビジョンを示してほしいということも意見として挙がった。
- ・時代と共にニーズが変わってくるので、そのことを常に考え続けたいといけないという課題も挙がりました。例えば昔は Amazon などなかったですし、今は荷捌きの課題がどんどん増えてきている。自転車・介護の課題も同様である。100 年先はどうなるかわからない。課題に常

に対応できるようにして、道と街が良いものになるようにするべきと話が挙がった。

- ・後半に関しては、本当に困っている方々の意見を取り入れる。また、高齢者・障がい者の方のお話も出てくるのですが、高齢者の方はどういう人の事を想定しているのかというのも考えていく必要がある。
- ・道路が広いに越したことはない。車道の整備の確保が必要という意見も出た。
- ・コストをどういう風に考えるか。道を作るときに億単位の費用がかかる。本当に道づくりを優先に使うべきなのかということも議論する必要がある。
- ・2期工事に分けられているが、中途半端が良くないということ。駅から着手すべきだったのではないかという意見も挙がった。
- ・これが現実的になったときの若者がこの場所に見受けられない。小学生の話聞くのも当然大事な話である。20代30代の意見も是非聞いてほしいという意見も挙がった。

## ■D班

- ・3グループと大まかには同じような意見が出ていた。歩車道の分離など。
- ・高齢の方から若い方まで世代間が広い中でどういったまちづくりをしていくのか。
- ・西荻は車がビュンビュン通るよりは歩くまちなのでセットバックしているところで残地があるなら共同施設などを作るとか、拡幅するまでの経過、実際に拡幅するまで時間があると思うので、作っていった方がいいのではないか。
- ・この班は西荻に対する愛着があって、お互いに気づきがあったのが良かった。
- ・トラムだ。
- ・おかえり西荻、ただいま西荻。

## ■その他、全体を通しての意見等

- ・まちづくりに併せて、地域住民の学びや気づき、地域に対する周辺が一体どうなっているか、介護している人がどんな状態にいるか、災害の時にどうやって下ろしたら良いか等、コミュニティで介護ステーションの人と勉強している。
- ・災害が発生したときに、自分たちが今この時間発災したら何をしたらいいか。子供も大人も考える時期にきている。
- ・地域での催し物でハロウィンを計画している。楽しいことをやりつつ、子供を見守りながら、大家族の中で、いろいろな付き合いの中で子どもが育っていく。我々はそうやって育てられた。そういう町に西荻をしたい。
- ・区長にお願いしたいのは、教育ビジョンで、「みんなで学ぼう、死ぬまで学ぼう」ということが基本計画で謳われている。その流れとして区民センターを学びの拠点として位置付けていただきたい。

そうすることで町会や地域のNPOを含めて、いろいろな連携、学びができるよう仕組みを作ってもらいたい。

地域を担う人に意識付けをしながら、気づきをもって、将来に向かっていけるように応援していただきたいと思う。

- ・地域連携、縦横、年齢を超えた連携ができればよい。歴史のある街の価値、付加価値が出てくる。
- ・まちづくりにかかわらず区取組に関して、見える化をお願いしたい。
- ・プロセスが見えるようにして、進捗を分かるようにしてほしい。
- ・子どもたちの意見を出す場が大事、この街を作るという意識を育てたい。
- ・子どもの話し合いの場を作ってもらいたい。
- ・コストをよく考えてご判断してほしい。黄色の部分で80億。駅までいくと200億かかると聞いた。例えば70人規模の老人ホームが10億20億で出来るので、そういうコストを考えて、区長にご判断していただきたい。
- ・先程一方通行の話も出てきたが、やはり区だけではなく警察とか駅の整備だとJR東日本、そういうところも何かしてくれると変わると思う。区長には区のスポークスマンであるので、警察やJRなど他の機関との交渉や調整を是非お願いできればと思う。
- ・質問というよりも、お願いという感じになってしまうが、このテーブルで話が出たのは居場所が大事だということ。子どもも高齢の方も年齢に合わせた居場所があるようにしていただきたい。どのテーブルでも「こうだったらいいな」という話が出たが、ぜひ社会実験という名目のもと試してもらいたい。難しいこともあるが、できない理由があれば、なぜできないのか考えて、やってみる価値はある。試してみながら、やっぱりこうした方がいいとか、うまくいかないということを我々と一緒に確認していけたら住民も納得してまちづくりに関わっていると思える。
- ・座る場所がないという話が出たが、132号線の残地の部分にイスやテーブルを試しに置いてみる。まず置いてみて、管理はどうなのかとか、小さなことから。  
 例えば区民センターを多世代が使えるような…、一度やってみてこれで人が集まるしいいとなったら、回るような仕組みをあとから作っていくというような、一步一步、とりあえず試してみることができたらいい。

## 岸本区長の発言内容（プレストを終えて）

- ・お集まりの皆様へのお礼。
- ・本日の対話集会における気付きが複数ある。
- ・西荻らしさ、皆が好きな西荻についてどのテーブルでも意見が出ていて、途中でレクチャーのあったウォーカブルな町がすごくフィットしていた印象。
- ・具体的な模型を見ながら、歩く人が中心の町を構想するというのがどういうことかが色々意見が出ていた。
- ・課題の設定を変えるとずいぶん違う想像力が生まれてくると思った。
- ・駅を良い感じにしたいということは、道路と別で考えていけるのかと感じた。
- ・残地の取扱いとウォーカブルシティのアイデア（かまど付きのベンチ）が結合していくこともあるのかなと感じた。
- ・ウォーカブルということや、高い建物が建設されないということ、車が多く通らないということ、西荻の良さとし、かつ、自転車が通り、歩行者が快適に歩けるということを考えると、どうしても車の絶対量を減らしていくという課題にたどり着かざるを得ないと感じている。
- ・一車線にしていくという話が出ていたり、西荻トラム構想もできないことではないのかなと感じた。
- ・今後このような対話が活発に起きれば。周りの方や若い人を巻き込みながら西荻の町を構想していくことを続けていく。

## (ブレインストーミングで出たご意見)

- ・今回の道路は何のためにつくるかよくわからない。
- ・自転車が非常に多い。神明通りは車がそう多くない。西荻だけが直角に曲がるのか。それこそ危ない。
- ・エネルギーの損失、滞留、交通事故が起こりやすくなる。まっすぐにしてほしい。
  
- ・まちづくりは20年後30年後のことを考えて維持していく、活かしながら活性化させる。
- ・人づくりが大事。町会が衰退している状況では、良いまちづくりができない。
- ・まちの基盤を作ることを並行してやってほしい。杉並区基本プラン、基本構想、教育ビジョンなどのセクションも。このようなものを組み合わせて他のセクションとタイアップしてほしい。区長さんにはぜひお願いしたい。
  
- ・杉並区は高齢者が多く、昼間歩いても老人ばかり歩いている。どちらかというとも男性だけでなく女性だけになっている。
- ・道路の拡張も良いのだが、高齢者が安心して暮らせるような道路やまちづくりをしてほしい。
  
- ・ハードだけでなくソフトも拡張してほしい。
- ・道路拡張問題よりも先に駅前広場の問題もやらなければ怖くて歩けない。
- ・駅前も花壇もふたをされてしまった。なんというか場当たり的なことばかりやっている。座るところがまったくない。高齢者の人が休憩する場所がない。
- ・千代田区や渋谷区、港区などバス停には屋根やベンチがあるのに、西荻窪にはない。暮らしやすさなどソフト面を考えてほしい。
  
- ・西荻をふるさとにしたい。子どもたちのために。今の西荻は自転車が本当に怖い。
- ・みどりが多く、ベンチもあって、できれば自転車道と歩道を確保してほしい。
  
- ・一通り歩いたが、練馬から来た時右側に拡張される。だけど左側にも削られるというのを初めて知った。
- ・商店街なのでみんな店子だから、大家さんが話されていないことがすごく多い。
- ・商店街のお店に一軒一軒きちんと拡張の話をしてないと困る。
- ・住民が計画にアイデアを出したい。みんなで話し合っ決めてほしい。
- ・説明会で提案したい、と言ったら、決められるのは舗装の色と街路樹の種類だけだと言われがっかりした。がっかりとともに怒りがこみあげて・・・。
  
- ・自転車が多く、通行するのに危ない。
- ・非常に狭く西荻から井荻までのバスに乗るとどちらかが止まらなると行き違えない。

- ・一時停車して荷物を降ろしている車もある。
  - ・2005年西荻南口の火事が起き、消防車がなかなかたどりつけなかった。あの一帯が全部停電した。
  - ・駅前が狭くとても怖い。座れる環境があればよい。
  - ・西荻窪駅前の反社会勢力（暴力団系）がいて、夜になると全く違う光景になる。
  - ・道路拡幅は決まっていることなのか。それによって話が違う。決まっているものに意見出しても意味がないのではないか。
  - ・何がどこまで決まっていて、どこまで検討できるのか。
  - ・車道や歩道、自転車道を作るといのが受け入れられるのか。
  - ・子どもたちにちゃんとした西荻を残したい。
  - ・道路と駅前の開発というのは、全くプランはないのか。それこそ大事だと。
  - ・道路拡幅のことではなく駅前の開発と一緒に考える必要がある。
  - ・消防車が来ても動けないから、そういう意味では広げるのは賛成。頓珍漢な広げ方をされると・・・。
- 
- ・住民や利用者の意見を聞いてほしい。
  - ・時期の問題。いつ、どうなるのか。
- 
- ・駅前は高齢者の方が迷われていたり、座るところがなくて困られている。
  - ・タクシーに乗るなら、ここがタクシー乗り場で、ここがスーパーの西友。ここからカートを押して、タクシー使っても。帰りたい人がいるのに乗り場まで遠い。
  - ・ここが荻窪行きのバス乗り場でここまでいかなければいけない。バスもタクシーも通る。
- 
- ・点字ブロックがようやくついて良かった。
  - ・歩道を自転車で行く人がいて危ない。視覚障がい者に後ろから当たって危ない。
  - ・お年寄りには困っているから、とにかく座る場所でも欲しい。
  - ・信号が青になって歩き出して点滅したらお年寄りが間に合わない。
  - ・道路を誰が使っているか、道路の第一期目にこういう話をこの地域の人と密に話し合っておく必要がある。
  - ・大家さんが地元の人であったり、全然違うところの人であったりと色々で、難しいところ。店子に道路拡幅計画が伝わっていないから周知しないと。
- 
- ・駅前は町のシンボル。中央線で一番貧しいの西荻。何もなくて木が一本あるだけ。
  - ・タウンセブンはお年寄りや普通の方が座れるスペースがある。いざという時に駆け込めるスペースがある。西荻は、ここしかない。火事の時どういう光景になるか。
  - ・事業決定するにもここからではなくて駅前からにしてほしい。
  - ・バス停がきれいに使いやすいようにできていれば良いのに、今は暗くて細くて鳩の糞が落ちてくるようなところで…。

- ・阿佐ヶ谷のように通り抜けできれば良い。
  - ・駅前広場が広がったら良い。
  - ・順番がオカシイ。区民のことを考えていない。駅前を一番優先でやらなくてはいけない。
- 
- ・神明通りが点線になっているが、ここは事業決定されていなくて計画だけある。
  - ・神明通りで曲げてほしくない。私たちとしては真っすぐが良い。メリットデメリットもあるが。
  - ・30年50年後につながっていく。この住宅地のところは50年先にもつながらない。すごく太い道路がここでいきなりこの状況に戻るわけである子どもたちも危険な目に合う。順番が違う気がする。
  - ・まっすぐにしないでなんでクランクがあるのか。
- 
- ・道路について杉並区から提案はないですね。歩道が車道のなかに取り込まれている。
  - ・11mが16mに広がって、車道は広がって、歩道はそんなに広がらない。1m広がるのみ。自転車が通るのは車道で良いのか。
  - ・ママチャリや高齢の方は歩道を通りたくないなどいろいろな考えがあり、歩道の一部を自転車にしている例もある。そのように区切ってしまうと救急車が通れなくなる場合もある。
  - ・へび玉道路みたいに所々にへこんだところを作って寄せると良いのでは。
  - ・ちょっとのスペースをやりくりすれば広い歩道や使いやすい道路になる。
  - ・一律に道路拡張を決めたと言わないでほしい。荷解きの場所もあれば。
  - ・これで決定と言わないでほしい。
  - ・駅前から考えていただきたい。順番が逆かと。
- 
- ・行政の他のセクション、保健福祉とか高齢者、教育委員会とかそういうところにも説明して、そっちの見地から意見を聞いておいてほしい。みんなで協力し合って。
  - ・産業振興課とかも。お店の関係で。
  - ・道路拡幅に関心がある。
  - ・住民の意思に沿って道路計画が進められているか気になる。
  - ・住民の意思が反映されるような仕組みができれば。
  - ・実現しない計画道路を進めるのではなく、今に時代にあった道路・まちづくりが求められていると感じる。
  - ・以前あった区との集会では、結果的に「道路拡幅しよう」と答えありきの討論に持っていかれて残念だったが、区長も変わったことで興味を持ち今回参加した。
  - ・コロナの時期から道路拡幅ありきの議論に変わり不信に思った。
  - ・住民の声をしっかり反映した住みよい町を作ってほしい。
- 
- ・子どももいるので安心安全な町がキーワードとなる。
  - ・安全の観点からすると拡幅も手段だが、地震が起きた時電柱が倒れるなどしたら拡幅しても車は通らない。そうしたら拡幅は手段として適切ではないと思う。

- ・ 建築面の向上や、電線の地下に通すことにより、物が倒れても道路スペースが残るようにしてそこから拡幅なら良い。
  - ・ 拡幅しても電柱が残っていたら地震で倒れて、火事になるので、その点を踏まえてまちづくりをしてほしい。
- 
- ・ 都市計画道路の事業認可が下りて色々動き出したのを聞いていて、その前年の区との集会で、「大切な道路でここには東京ガスがあり緊急車両が出る」との説明を受け、当時は納得した。しかし東京ガスがなくなっても拡幅計画自体は変わらず、納得する要素がないにも関わらず、かつ、地域の話も聞かない状態で拡幅計画変更が許されない形になっていて、都市計画道路の呪いと感じている。
  - ・ 関東大震災の時に引かれた都市計画道路計画線と、住宅が密集している現在において道路を拡げるのでは全く話が違っている。
  - ・ なぜこの計画は変えられないのか、変えたとしたらどのような負担が区民にかかってくるのかを行政側が説明する必要がある。
- 
- ・ 南口の飲み屋街が西荻の財産。区内で世界遺産にできるのであればそこくらいと感じる。そこをいかに残すかを皆で考えることが最初。そのようにして地域のプライドを高めることをやっていきたい。
  - ・ 50年前に来た時は、荻窪は穏やかな町の印象だったが、都会化されてきた印象。
  - ・ 西荻駅周辺のマンションは単身用であり、人がほとんど入っていないところが多い。逆に人が住みにくい町になってきている。
  - ・ 西荻の一つの特徴として、お金は出さないけど口は出す。それはすごく良いことと感じる。
  - ・ 知識人が多いので多角的に考える人も多い。
  - ・ 子どもの環境を守るためにはもう少し子どもの立場になってほしい。
  - ・ 西荻の特色を出すとするならば、もっと田舎っぽい町で良いのでは。
- 
- ・ 道路問題はよくわからないところでどんどん決められている印象で、道路が拡がり都会化され車がたくさん入ってきてそれで本当に良いのかと感じる。
  - ・ 今後の進め方としては、いろんな立場の人が対話しながら作っていく・守っていく体制を築いてもらいたい。
  - ・ 今まででは都市計画は変えられないと区の方が言っていたから不信感があった。変えられる、そのプロセスがあることも初めて聞いた。
  - ・ 11mから16mに一律に道路を拡幅することが前提。
  - ・ 拡幅反対者のことを考えると、道路の拡幅計画を部分的に見直すことを検討すべき。
  - ・ 実際にそのようなことを言っても、計画見直しは無理と今まで聞いていたから、変えられるならそれが良いと思う。
  - ・ 拡幅により区画整理が並行して行われ、住人が持っていた物の移転先の場所が悪くなる可能性がある。そうすることで培ってきたものがなくなるのが一番怖い。担保されれば拡幅という選択

肢もあると思うが、それが見えないと反対する人は反対するのでは。

- ・金額ではなく、位置的なものや継続性が担保される話がないのは怖い。
- ・西荻南側は車の行き来など今も不便・危険な箇所がある。20年前に計画した物が通っているということを考え直してほしい。地権者とも色んな交渉が出ているから難しいと思うが、皆で考える場面を作れないだろうか。
- ・駅前的一方通行はできないのか。
- ・その代わりもう一本一方通行を作る必要ある。
- ・南側拵げた両方通ることに反対で未だに一方通行。
- ・バス通りもそう。両通行に行くとスムーズ行くと思う。大きな道になるとしたらあそこ一本だけにして他はやらないという方が車の通りも良い。
- ・質問だが、コミュニティスペースを作ったが拡張されるか半分ほどなくなる。そういう場合その場所を確保するには自分たちが努力しないといけないのか。お金の問題でないと思う。
- ・事業認可が下りているところで、商店街の真ん中に5階建て投資用マンションが建つらしい。1階は住居として住みやすいところではないし、1階は店舗に住むなどのルール作りをするとう良い。
- ・ハウスメーカーが買ったらしきところなどに家が建つと商店街として面白くない。そこに家1階に店となるような町ぐるみでルールがあれば。商店街に家だと閑散とした感じになる。
- ・南口も北口もマンションが入ってくるので、町ぐるみで1階はお店が入れるようなルールを作れるか。
- ・三鷹駅周辺等は再建築の際は店舗か事務所にするなどといったルールもあるが杉並はない。
- ・商店街に色々な店などがあり、個人のお店が切磋琢磨するのが西荻の良さ。その良さを残したい。
- ・拡張整備された道は歩きやすいが、賑わいという面では厳しい。
- ・幅が広いと寸断される。
- ・道路を作ることで町の継続性が分断してしまうのではないか。
- ・町の良さが消える。
- ・世の中の道路の作り方からして、立ち退きを待って、その人が亡くなるなり相続が終わることによって動く。
- ・プロセスを見えるようにしてほしい。前回の懇談会では見えるようにしていたけど途中で見えなくなって行って、最終的に全く違う話が出てきた印象。
- ・まちづくり・再開発という言葉はネガティブなイメージがある。しかし、街は生きているので所々変えていく必要はある。まちづくりの中で一番大事なのは道（道路）であると考えます。
- ・まちづくりに関してはどこの街も同じようにはならない。
- ・これから人口も減る。杉並区も人口維持が精一杯であると思う。人口が減ることを見越してかつ街の特徴・特色を生かしていくことが将来的には大切だと考える。

- ・武蔵境や武蔵小金井は昔と現在とではだいぶ変わってしまった。
  - ・西荻周辺はごちゃごちゃしているが、逆にそれが街の特徴・魅力であるため、この特色を無くしてほしくない。
  - ・道路拡幅を何のためにするのか。何に困っているかがよくわからない。
  - ・まちづくりを建築部局だけで考えるのは違うと思う。
  - ・この路線の不満としては荷捌きの路上駐車が多い。駐車禁止にはなっているが、駐停車禁止になっていないため、極端なことを言うと、全て駐停車禁止にして（路上駐車の課題を解消すれば）車が通る道としては困らないし便利になる。
- 
- ・2050年ゼロカーボンシティを目指すという事を杉並区は宣言している。宣言しているにも関わらず、何をしているのかが不明確である。
  - ・お年寄りが多いとはいえ、学校も多く子どもが増えてきているので、次世代を意識したまちづくりをしたほうがよいのではないか。
- 
- ・安全は言葉のとおりである。
  - ・3人で並んで歩けない。これはベビーカー・車いすの方とすれ違えないということ。
  - ・通行という事を考えると、とにかく歩道を広くしてほしい。安心してゆっくり歩けるとというのは誰にとっても悪いことはない。防災の観点からも広い道にこしたことはない。
- 
- ・ここに集まっているのは道路に関心のある人が多い。意見が皆違うため、各意見をどうやって行政に伝えて反映させていくか。
  - ・行政も区民も責任を持つということ。
  - ・意見は様々なので、みんなが歩み寄らないと結論は出ない。
  - ・まちづくりでは最後まで納得いかない人が必ず出てくる。その人の痛みをどうやって受け止めてあげるかということ、これまでの行政はそういう点が不足している。
- 
- ・地球温暖化・猛暑の事も考慮して区として長いスパンで自然の木の力を活かしてほしい。
  - ・市街地の道は歩行者優先であるべきである。
  - ・高低差もあるので、車をどのように減速させるか。道路設計だと直線になってしまうが、道を蛇行させることによって、減速させることができかつ荷捌きスペースも作れるのではないか。
  - ・道を拡幅することによって商店に影響出るのはよろしくない。
  - ・自転車対歩行者の話もあるので、そのあたりも考慮すべき。
  - ・車を減速させる。歩行者が安全に移動できる。歩行者と自転車が錯綜しない道が良い。
- 
- ・全体のコストを考えなければいけない。
  - ・道路整備は1km整備するのにもかなりの費用がかかる。
  - ・道路コストがかかりすぎているように感じる。
  - ・他にできることがあるのではないか。違う方向から困ったことを解決できるのではないか。

- ・道路整備に限らず、警察や他の分野でできること。コストをかけずにできることがあるのではないか。そういうことも併せて考えていく必要があるのではないか。
- ・歩道を広くして西荻名物の祭りをやるのも良いのではないか。
- ・荷捌きの車が多いのは、少なからず区民が影響している。(例：Amazon 等ネット注文)
- ・介護の車も増えている。昔になかった問題、今のニーズに対応する工夫が必要に感じる。
- ・駐停車禁止にすると困る人が増えてしまうのではないか。
- ・道路に店の物を置くということはやめてほしい。
- ・なにかを引っ込めるとなにかが出てくるので、多目的に使用できるスペースがあれば変わってくると思う。
- ・あまりに道路を広くしすぎても西荻の良さが消えてしまう。
- ・介護車に関しても、駐車禁止除外指定車標章をもらっている車が少ないため、簡単に取得できる仕組みをつくるなど、違う方向からできることをしたほうがよい。
- ・神明通りの朝市は月 1 回午前中第 3 日曜 3 時間、交通を止めて、買い物道路としてやってきていた。47 年続いていたが、新型コロナウイルスの影響で 3 年ほど開催していない。再開してほしいという声もある。小さな商店街に 1000 人多い時は 5000 人のお客様が来場されるため、企画側としては慎重にならざるを得ない。
- ・目的がみんなそれぞれ違う。何について話し合うか。何をどうしたいかを話し合うのかという前提条件が違う。今回はブレーンストーミングということで意見を出し合うということで答えを求めないという事で良いが、これまでは各々が自分の希望を言い合っていた。プロセスとしては、あるところまで決めたら行政にお願いするしかないが、あるところまでをどうやっていくのか。
- ・例えば事業開始となった時は住民の同意を得た状態が良い。それでも反対する住民の方はいらると思う。それでも、事業開始前までは住民参加でも良いと思う。
- ・住民の声は様々なので最終的には行政が判断しなければいけない。区長・職員等だけでなく、議会が関わることが必要である。都議や区議の積極的な参加を求める。
- ・区長にビジョンを示してほしい。ビジョンを示してもらって、必要なら投票する。最後は専門家が決めてくれればよい。それがダメなら次の選挙は区長に投票しない。それだけだと思う。
- ・このブレストを何回か実施した際は、シンポジウムが開催される。シンポジウムの目的は何なのか。
- ・意見をいうことは大切だと思うが、行政には何らかの形で住民参加型にしてほしい。
- ・街路樹に関してもヨーロッパでは市民が街路樹の管理に積極的にボランティアで参加する。木 1 本 1 本市民が管理している。
- ・住民にできることはある。地域（住民）参加型が実現することを願う。
- ・駅ごとの指針の話がされたかと思うが、西荻の時の懇談会では何故こんなに揉めるのだろうと思った。他の駅ではどうだったのか尋ねたところ、住民参加はしなかった。協議会がそれぞれ街にあって、話を進めていた。住民参加型は西荻だけだった。だからこそ、この会は実験的ではあ

るが面白いと感じた。これを乗り越えて何かしらの結果に繋がればいいなと思う。区長さんも変わって私は期待している。

- ・子どもが3人、両親もいる。世代間の調和が取れている町だと思う。
- ・愛着を持って、事情があつて離れることがあつても、ふるさとというか、居心地のいい、戻って来られる町になればいい。
- ・居心地のよさ、快適性はイコールにならない。
- ・道路はどうあるべきか。街並みに居心地のよさを感じるが、子どものころから、歩道を自転車で走れないと感じている。エコな町として自転車を推奨しているが、歩道のところ、ましてや高齢の方が増えてくると車いすや補助具を使って歩くということを考えたり、防災性、消防車など、災害時に入っていきやすさは必要。
- ・ある程度道路の整備を検討していくのは必要。
- ・道路をどこまでいじるのかというのは西荻をどういう町にしたいのかというのがポイント。
- ・交通量が増えて他所から来てほしいのか、自転車を車道に出して、歩行者と分けたいのか、検討できればいい。今だと車が荷下ろししていたら片側が止まってしまうし、自転車が車道を走っていたら車が避けていかなければならない。
  
- ・駅を降りたときに、「あ、帰って来たな」とホッとする町であることを大事にしたい。
- ・年寄りに優しい、他の町だと居酒屋に行くとき最高齢になるが、西荻では最高齢にならない。元気づけられる。
- ・昔は車が通るのに道が狭いと思っていたが、年をとったら車で出かけなくなったので、静かで良いなと思う。
- ・西荻だけ、吉祥寺、荻窪にみたいになっていない。なんでここだけ変わらないのかと思っていたが、不動産業をやって、ここを求めてくる人の話を聞いて、大事さに気づいた。選ばれる町は貴重。他にない町、ここにしかないというところが多いほど愛着が出る。個性的な町ほど愛される。せつかくそういうところが残っているので大事にしたい。
- ・居心地が良いということは、車が通らない道。銀座などの歩行者天国を歩く人はのんびり歩いていて、週に一回でも守られている。西荻にも歩行者天国エリアを駅の周辺に作るという。
- ・時代的には車は減っていく方向、自動運転など、運転しなくてもいい方法が増えていく。
- ・自分たちがどういう町にしたいかまず考え、そこからどうするのか。全国的に駅のまわりから自動車をなくしたら良い町になったという例もたくさんあるので、西荻もそういう取り組みができれば良い。
- ・多世代で町のことを考えたいと思っている人がいることが宝だ。
- ・ライフステージによって、必要なものが変わる。今困っていることが少し経つとなんでもないようなことになったりするるので、そういう意味で寛容な町にしたい。
- ・自分は地元の小学校、中学校で育ったが、最近は私立の学校に出ていく子が多いのが残念だ。ふるさとで友達と一緒に暮らせる時間が作れる場所が欲しい。
- ・年寄りがある場所がない。町を歩いていても車に引かれそう。耳が聞こえなくて、クラクション

ンを鳴らされても分からない。キャスターバッグで歩くのもタイル舗装でガタガタしてしまう。美観的には歩道のタイル舗装はいいが、年寄りには歩きづらい。

- ・タイルではない舗装路は、雨が降ると滑りやすい。マンホール等特に。年寄りにもっと歩きやすい道路がもっと必要。
- ・松庵に住んでいるが、善福寺より井の頭公園が近いのに、行政のエリアが分かれるため(緑化地域の区の政策の)対象外になっている。そういうところを計画の中に、松庵地域の住みやすさのプラスメリットに入れた方がいい。
- ・歩きやすい道路のために、広い道路の一本裏道の活性化を進めた方がいい。自動車を通す道路の一本脇の道を車が通れなくして歩きやすくする。中途半端な空き地を残さず、使いやすい道を考える。
- ・暗渠の金太郎の車止めの先の遊歩道をもっと復活させて歩行者ゾーンを活性化する。
- ・今の歩道の広さでは自転車は危険。自転車レーンが必要。
- ・コンパクトな駅、沿線の駅に比べて個性的な駅。駅周辺の作り方はハードルが低いが、残念ながら汚い。新しい古いの問題ではない。道路幅がやはり問題。
- ・自転車のナビラインのサイズは幅に約束事はあるのか。道幅に比べて明らかに広いラインがある。人、自転車、車がバラバラ、ナビラインのお陰で、視覚的に狭いものがより狭くなってしまふ。喧嘩する場面も見てしまふ。
- ・表示のプラスオンは辞めて欲しい。松庵ストリートのフラッグ、商店街が変わると色がコロコロ変わる。
- ・道が狭いのかにかかわらず、都道に看板を出している商店がある。条例で精査していく必要がある。
- ・一步入るとある緑豊かな住宅街が埋もれないで欲しい。デザイン的にも落ち着いた街並みを形成しているのかにかかわらず、突然奇抜な色のアパートが現れる。条例等でまちを守っていけないだろうか。
- ・自転車置き場を各店舗に設ける。
- ・西荻窪っぽい街並み、お店が形成されている。お店の在り方、通う人の在り方。習熟したことによって商店街の個性の高まりによるカラー、差が出てきたので、商店街同士の連携が必要。商店街が主導でやるのか、行政が主導でやるのか、市民活動でやるのか。
- ・人の顔の見える町。店主さんが頑張っている。居心地の良さはそういったところからも感じる。チェーン店ではない。
- ・住宅街のところは、景観地区とかにしていけないと、縛っていけないかも。
- ・高層化は危険なことだ。まわりの道が暗くなる。
- ・個性的な個人商店は確かに多い。駅の南口の飲み屋街などレトロ感と言うが、それなりに整っていればの話。シャッターがおりて、朽ち果てそうな店が多い。
- ・道路が拡張して一体となるような店。ヨーロッパなんかにある。そんな風に居心地のいい店になればいい。

- ・地域のコミュニティとしての場所、道路の拡張に伴って立ち退きになったときに道路の幅以上に敷地があって、そっくり立ち退かなければ意味がない。というかちょっとしたでっぴりは区が買わないと聞いている。残地は、区は買わないと言っている。説明会では。
- ・残地がコミュニティの場として有効に使えるとよい。
- ・月にたった二時間のきずなサロンに年寄りが集まるだけで毎月それが楽しみになる。集まった人はたった二時間の場をニコニコして非常に楽しんでいる。毎週毎日できれば素晴らしいまちづくりにつながる。
- ・そのためにそういうところを補償したら区が安く手に入れて、町会の事務所を半分兼ねて町会に商店街のおもりをさせるコミュニティやカフェを作してほしい。
- ・西荻の町が大家族のように助け合って暮らしていける町になると良いと思う。
- ・子どものひきこもりなど、そのようなものをじいちゃん、ばあちゃんの間で元気になって。という例がいくつもある。お父さんお母さんからお礼を言われて、立派に学校に復帰して、がんばっている。色々な世代の人に励まされて子どもが育っていく。
- ・教育ビジョンにあるように地域で子どもを育てるといことははっきり謳っている。あらゆるところで子供を地域で育てる。
- ・道路を作って広げるプランはハード面として、人のソフト面を一緒に育てていくというプランが必要かと思う。
- ・ちょっとしたスペースを買い上げるのが難しいなら、区が借りて、子どもやお年寄りが休憩できるようにベンチがあったらいい。
- ・そのようなスペースを積極的に区が活用してほしい。まとまった敷地があれば防災トイレとか、カマドベンチとか、こういったところにしつらえておけば沿道で避難する人のためのちょっとしたポケットパークになる。いざという時にトイレになるとかわかっていれば良い。
- ・トイレが少ない。コンビニも使えないことがあり、離れたところの公園の汚いトイレに行かざる得ない。便利なものを置いてほしい。
- ・歩道をお店の一部として使えると良い。地域のカフェ。お店の前のスペースを歩道の延長として使えるように。
- ・一時的でいいので公園とかにできないか。
- ・屋台カーとか入ってもらって、行政は場所代取ればよい。
- ・自転車のスペースをどうするか。あっちこちに置かれたんじゃ・・・
- ・吉祥寺では5台とか10台で駐輪スペースがある。
- ・遅い時間や早朝、朝の駅前の様子も視察してほしい。ママチャリや車の状況など。
- ・駅前の面積が限られている。中野や三鷹駅は立体的になっていて下をまたぐようになっている。立体的な構造も考えてくれたら。三鷹駅南口はうまく作られている。
- ・コンコースの上をまたぐようなものも作れないのか。
- ・立体的なのか、きつくて詰め込んだらいいのか、平屋の方が便利とか。
- ・平屋ならトモズのあたりここを下げられたら。
- ・難しいとは思いますがサンドラッグのあたり買い上げてもらえれば

- ・三菱と三井銀行のあたりをタワマンとか高層ビルにする計画はないのか。銀行の二つがすごい面積で。
- ・強制立ち退きは絶対辞めてほしい。反対派で自分が知っている商売している人たちは10年商売してもらって。一斉に立ち退きをやめてよい方法はないかなと。
- ・地上げなど悪い立ち退きを防ぐ意味での再開発があれば。商店の方も高齢の方が多から。
- ・周辺の人が駆け込めるような安心できる窓口があれば。
- ・定期的に勉強会を商店の方だったり、地上げ屋にかかっている方とかできれば。
- ・まちのことを相談する窓口がほしい。
- ・ガード下の商店街。シャッター商店街でガラガラになってしまっている。
- ・20mに広がるなら車道を細くして、そうすれば駅前にも広場ができる。歩道公園もあれば。避難のときもここに集まれば。火事も多いので。
- ・雰囲気は残したい。
- ・西荻の町全体をどのようなコミュニティにしていくかという問題をあぶりだしたい。行政も横断的に。
- ・区役所にそのような部署はないか。
- ・人間の繋がりとか、子どもの育成、公園の在り方など、いろいろなことを含めてまちを考える必要がある。
- ・継続的に何年も期限を区切らないでほしい。みんなで話し合う場になれば。
- ・クリチバのように行政中心の場にちゃんと市民も参加している。
- ・道路計画はまず決まったもの、というのにしないでほしい。道路の幅員の話とかを変えられませんか、とかそういう風にしないでほしい。
- ・あくまでも計画なのか。
- ・車道はプランなのか。
- ・通ることは決まったけど、ここに歩道、ここに車道は決まってないのか。
- ・電線は埋め込んでくれるのか。
- ・グリーンインフラの関係で雨水を花壇に浸透させるとかそういうのも新しいやりかたがいっぱいある。
- ・善福寺川に汚水も流れるので、地中浸透させたい。
- ・西荻窪は杉並区の境界、取り残されている。
- ・道路も長いので、ここは車優先、ここから先は車の渋滞もないから歩道広めにして、歩行者優先にするとか。
- ・今の道路幅は狭い。バスがすれ違えないくらいだから。消防車も入りづらい。道路幅は広げたほうが良い。
- ・人命第一で、防災で進める分にはよいが、頓珍漢な広げ方をしている。
- ・車に乗らないため、拡幅する必要がないように感じる。車を使う人にはこうなってほしいというのがあるかもしれないが。

- ・時間規制や、タクシー、バス、緊急車両、商業用車両などだけが通れるようにする。
  - ・ガード下などに荷物をおろして、自転車・リアカーで店舗に配達できるような、ハブ的な仕組みがあっても良い。
- 
- ・八町通りから五日市街道に出ようと思うと、神明通りにぶつかってクランクになって宮前に入る。どこか一本通すのか規制をかけるのかなどになるかと思う。
  - ・朝の神明通りは混んでいて危ない。
  - ・車の場合クランクは止まらないといけないし、二酸化炭素も出るし死角になるから危ない。一本だけ一方通行にできればよいのではと感じる。
  - ・クランクの良さはスピードが落ちる点とのことなので安全になるという考えもある。
  - ・直角のクランクはダメ。U字クランクだとスピード出なくて安全。
  - ・逆にクランクで電動自転車が車に突っ込んできて危ない。
- 
- ・直線道路を真ん中一本だけ太いのにするのなら、そこな幅を広げて木やテーブルを置くと拡張しても街の良さは残るのでは。
  - ・丸の内はけっこうウォークアブルシティの例はあり楽しい。
  - ・西荻は雑然とした良さがある。
  - ・道に店がはみ出すくらいがおもしろいかもしれない。
  - ・スペースの活用でスケボーの乗り場やパルクール、キッチンカーという案も良い。
  - ・道路拡張工事中の用地の活用を常に考えないと、空地が増えゴーストタウンのような形になってしまう。
  - ・そのような場合、畑や、花壇に野菜を植えて食べるようなことも良い。
  - ・以前の懇親会の時は「食べるまちづくり」といったコンセプトを出した。
  - ・区は、道路を取得はしないのか
  - ・取得しようとしてという話を入れておかないと、議論が脱線して、自分たちの議論は何だったのだということになる。
  - ・区は空いた土地を取得するべき。
  - ・スペースの有効活用で取得していく方が建設的だと思う。
  - ・区も大変だろうと思う。
- 
- ・防犯カメラの設置を充実させてほしい。
  - ・時間指定により一方通行や、通行方向を入れ替えたりする。神楽坂はそうなっている。
  - ・変なクランク道路は作らないでほしい。
  - ・見晴らしの良さは直線。出会い頭がなくなる。
  - ・西荻はもともと一方通行が多いので循環形式でもよかった。
  - ・大阪の御堂筋も一方通行。神田もそう。
  - ・神明通りと八町通りがクロスする箇所の南側の道路を一方通行の代替え候補にするのはどうか。
  - ・都市計画変更のための代案を出す必要がある。代案を披露する場を作る必要がある。

- ・代案がないから行政がさっとやってしまう。
- ・多摩の方なら土地があるから良いが、こちらにはないから、金で解決するならした方が良い。持っているスペースでどうするか議論する方が建設的。
- ・2本の道を一方通行にする案。→北銀座通りを北側一通、日産プリンス東京荻窪店（桃井三丁目交差点）の北側の道路を南側一通にし、西荻児童会館前の北側の道を拡幅するという案。
- ・その条件だと区が言っている延焼遮断帯についてはどうなのかと思う。
- ・しかし、延焼遮断帯は22mだったと思うが16mに拡幅したところで足りない。
- ・西荻の場合はもともと100年前の区画整理がしっかりしていたからか、燃えにくい町になっている。
- ・杉並は高円寺、阿佐ヶ谷が危険。燃えやすい。消防車は入らないのでは？
- ・セットバックして申請しOKになった後、気づいたら花壇や自販機になっているケースがあるため、そのようなことを規制した方が良い。
- ・都市計画道路のネットワークでスムーズな移動が可能になることをこれ以上望むのか。それだったら狭い道路のことを解決出来たら。消防車が入れる道を増やすことを考えないといけない。西荻南口、松庵の住宅街など。
- ・杉並で一番燃えないところに延焼遮断帯を付けるのは疑問。
- ・畑が良い。花壇を畑にしても良い。
- ・実のなる木など。
- ・西荻のプラタナスは、落ちる前に黄色い葉っぱが刈り取られている。
- ・イチョウの葉は分解するのに時間がかかる。集めて畑にすればよい。
- ・落ち葉感謝祭を企画して、落ち葉を戻そうとした。イチョウは分解するのに時間がかかるし滑るし危ない。阿佐ヶ谷の人も大変だと言っている。
- ・イチョウは、防災効果は高い。
- ・落ち葉感謝祭で各学校の落ち葉溜めを作った。しかしゴミ捨て場になって活用されていない。そのような落ち葉溜めを利用して、腐化させて畑に活用する。
- ・車道が自転車道路となっておりすごく危ない。
- ・電線無くす。
- ・電線がなくなると少し寂しいかもしれない。
- ・電線は地下に潜らせてほしい。
- ・視覚障害の方曰く、道路幅が広がると歩きやすいが、手掛かりがなくなり怖いらしい。
- ・バリアフリーだからといって段差を取ると自分の居場所が分からなくなるらしい。
- ・事業認可されたのが関根橋から北。南側の人から「あ！いいな」と思うような道路にするのは絶対条件である。
- ・ここはスペースとして使って良い。ここは駐停車しても良い、という線引きを計画で示すべき。計画の時点で沿道の方と決めていくのが良いのではないか。

- ・南側の人に説得力のある計画を立てる必要がある。
  - ・車道部の 9m にこだわる必要があるのか。16m の総幅員は決まっているので中途半端にするべきではないと思っている。
  - ・北だけやって南はできないというのは車にとっても歩行者にとっても、要は駅近くの方が手つかずのまま残るといえるのは、いったい何のため北をやっているのだろうという意味が薄くなる。
  - ・何年かけてやるのか。50 年先にできたところで、私は死んでいるし、人間社会の需要も変わってくる。やるのであればそれなりのスピード感をもってやってほしい。
- 
- ・計画としてはどうなのか。
  - ・コストを知りたい。10 億・100 億になると何ができると考えたときに、10 億あると 70 人程度収容できる老人ホームができるイメージ。100 億になると、たしか埼玉スタジアムで 200 億。スカイツリーで 400 億そのぐらいの規模感。これっていくらかかっているのとなったときに、1 億じゃ終わらないと考える。おそらく数十億かかると思う。そう考えたときに老人ホームが 1 軒 2 軒建てられる。そのコストを考えた上でどこまでやるのかを考えた方がよい。
  - ・よくセンター拡幅・左拡幅・右拡幅とかで 3 つで案を出して経済評価してやるけど、そうではなくてこの道路を拡幅するのと他に何か作るのとで比較してはどうか。
- 
- ・西荻を南北に通る道だから、広いに越したことはない。むしろ 16m でも狭いと思う。
  - ・16m といったら、高円寺南の大通り、方南通りと同じである。
  - ・車 1 台通っていて、歩道も少し広めにとっているが、なにかあったらこの道を避難通路や防災に使用することになる。
  - ・車を通るといって嫌っている方もいて、歩道優先自転車優先という話もあるが、ライフライン・いざという時のために車道の確保が必要だと考える。
  - ・日本と外国の自転車のイメージが違う。日本の電動自転車は原付バイクと一緒にいる。それが車道に出てきている。歩道を走るな、車道を走れという通達が出ている以上、歩道を広げる必要はない。
  - ・ベンチを置く・店を出すという事例もあるが、区で管理するとなった時に、店を出す等の許可は区が出すことになる。それは後々警察と話をしていくことになるのではないかと。商店街の店先で移動販売をやるのもどうかと思う。
  - ・事例を見ている、すごいきれいに映っているが、果たしてそこまでやる必要があるのか。樹木等を植えてもこの先誰が面倒みるのか。木を切るなど騒ぐ人もいれば、落ち葉を拾うの大変だから木を切れという人もいる。結局税金で賄うことになる。
  - ・いろいろやるにしてもお金がかかってくる話である。私は歩道と車道の整備だけで良いと考える。広げてほしい。
  - ・駅周辺の方が自転車や歩行者が多くなる。先に駅の方を広げたりした方がよいのではないかと。
  - ・優先順位が逆なのではないか。
  - ・用地買収も済んでいるし、比較的スムーズなのではないか。
  - ・駅までいかないと意味がないのではないかと。

- ・やらなくてもいいのではないか。
  - ・駅前を広くすることにニーズはあるのですか。
  - ・色々事例をご紹介していただいたが、広さや規模感が違うので現実的な事例ではない。
  - ・色々ご意見出たが、最後は区長がビジョンを示してほしい。
- 
- ・私は西荻の道路は車がバンバン通るイメージはない。たしかに停まっている車は邪魔に感じるが待てばいいだけの話である。大渋滞している印象を受けない。歩行者優先で良いと思う。
  - ・車が入らない街の中心地という発想はどうか。車を入らないようにするのは現実的に難しいのではないか。荷捌きの車とかはどうするのか。
  - ・荷捌きの車とかはどうするのか。
  - ・この近辺に住んでいる住民が動けなくなるのではないか。
  - ・長い歴史の中で合意形成しないといけない。世代が変われば可能かもしれないが、車じゃなきゃ移動できない人だっている。
  - ・駅前だと車を入れさせないことは可能かもしれないが、エリアの設定によるのではないか。南北に抜けなくなるのではないか。それをやるなら100年計画の世界の話で、世代が変われば、みんな住処も変わる。
  - ・中心地に車を所有している方は多いのか。
  - ・エリア外に車を停めることになると思う。そこまでは自転車でいくようなイメージである。
  - ・移動の自由とか天候上の理由とか非常にハードルが高いのではないか。
  - ・100%じゃなく、そのやり方を都市に合わせて色々考えるのもいいのでは。
  - ・イメージとして松庵は車が入りづらい。
  - ・部分的にやってみて上手くいくかとか社会実験は必要である。
  - ・西荻らしさを残したい。道路もできればそこまで広げたくない。歩行者を安全にと考えると車を減らすしかないと考える。
  - ・乗り入れ禁止区域に関しても、実験してみても面白いのではないか。神明通りにあった朝市なんかもそのような感じである。
  - ・神明通りの朝市にはクレーム等があったのか。
  - ・50年近くやっているのに、クレームは出ていない。警察の許可もとっている。バスが通らない地域でもある。車が通る前から開催されている。
  - ・車が入ってこなくても良いというのは、一つの気持ちだと思う。でも車を利用している人はいる。例えばそういう意見があった時に社会実験とおっしゃったように、第〇日曜日は許可書がある車以外は、皆さん車を使わないで駅周辺寄ってみませんかというものを提案されて、1度やってみて皆さん経験するとわかってくることのあるのではないか。
- 
- ・私たちに与えられた課題は、道が拡幅されることに対してどうする？ということをお話し合っているのだから、私は個人的に歩道を広くしてほしいという事です。
  - ・安心安全を考えると、歩道は今の倍くらいにはしてほしい。今回の計画では車道が倍になるわけではない。当初、道路問題で気にしていた人が、お年寄りが信号を渡れなくなるのではないか

と心配されていた。道路問題はピンときてカッとなると広くしないでいいという人はいる。なのでこういうことを何度でも繰り返して提案して意見を聞かせてください。等身大の図を貼ったらいいではないかと提案したところ、土木課が等身大の図を用意してくれた。みんながイメージをしやすいような工夫をしてほしい。こういう場でいろんな意見を出るのを直接聞いていただいて良かったと思う。

- ・ 駅前に買い物に車で来る人っていないですね。通り抜けたいだけですね。停める場所自体がないですからね。
- ・ 西荻の南側は送迎車が多い。特にバスの脇あたりは。
- ・ ローターリーがあるわけでもないです。そういう点では駅前の構造というのは、西荻は独特ですよ。
- ・ 私は、今回は北口に駅前広場を作るのは不可能と考えるので、この機に南口に避難場所という意味も含めて、南側に駅前広場をなんらかの形で作ってもらいたい。長年の希望。
- ・ 全部避難場所を作れと言っているわけではなくて、南口のどこかに何百人規模の滞留者が出たときにテントが建てられるような場所を、今杉並区も困っているはず。西荻の駅に本部のテントを建てる場所がない。そういうことも含めて今回皆さんに考えてもらいたい。
- ・ バスのロータリー、タクシーが停まっている場所。高架下。ずっと削られるわけじゃないですか。
- ・ 建て替えなきゃいけない人がたくさんいるので、そのタイミングで何らかの形で協力してスペースを確保出来たら良いと思う。
- ・ 駅の構造を変える。駅を立体にすればスペースは生まれるのではないかな。
- ・ 区でできることの提案である。
- ・ 住民と協議するより、JR と協議した方が良いのではないかな。
- ・ JR は JR でやるべきことはある。
- ・ 駅前のごみごみしていた方が人気は高いのか。
- ・ 家内はごみごみした街ではなく、きれいな街を望んでいる。
- ・ やきとり戎はあり続けたいといけない。
- ・ もう既に業者が動いている。したがって私たちは話ができない。行政みたく意見を求めることがないからである。こういうの作りますとなったら、戎もなくなっちゃう。
- ・ 地域の人が声を出すのは無駄ではない。
- ・ 杉並区が間に入っていたらいいけれども。
- ・ サミットの件は、商店会でお願いして東急の社長に来てもらった。当初はマンションが建つ予定だった。庶民派ということから若い人向けの賃貸物件になった。地域の人が望むことが一番ですと社長が言ってくれた。
- ・ もともと西荻デパート・百貨店でしたね。
- ・ もともとデパートと小さいスーパーだった。あれがなくなって不便という声が挙がった。南側にできて人のとおりも増えた。売上が伸びた店もいっぱいある。
- ・ スーパーができて、商店会と上手く競合してやることで商店会も活性化する。

- ・したがって、計画の段階で地域の人が声を出すのは無駄ではない。本気で言えば皆さん聞いてくれる。
- ・現状、今の建物は安全とは言えない。火事・事故も発生している。西荻の街の雰囲気を残しつつ建物を建てるのは建築家の腕の見せどころではないか。
- ・何が西荻の魅力なのかを街の声をずっと出し続けていかないといけない。協議会のように住民の意見を言っていくことで、街の色が残っていくのではないかと思う。
- ・この場に車いすの方や視覚障がい者の方・高齢者の方の意見が入らないのは、誰にも優しい道とは言えない。
- ・外国の方や障がい者の方が、同じ土俵で同じ情報を共有して色々な意見を出し合う。それを専門家の人がまとめてくれればよいと思う。
- ・子どもたちとも是非やってください。
- ・これができるところに担う人たちですから、意見を聞かないわけにはいかない。
- ・コストを負担する20代30代という若い世代の方に参加してほしい。
- ・高齢者ってという言葉が出てくるが、具体的にどういう人を指すのか。高齢者の定義が何なのか。実際、高齢者の方が出歩くのか。
- ・私は出歩いてほしいと思う。障がい者の方も含めて、ここに出て来れない方が道に出ていただけるような道づくりを目指してほしい。
- ・そういう方々が実際どれくらいいるのか。子どもたちよりお年寄りの方を最近街で見かけない。みんなデイサービスに行っている。その方々が街を歩くというのがイメージしづらい。
- ・高齢者は昔よりいなくなったと思う。みんなデイサービスに行っているから他にいくところがない。そういうスペースができれば、街に出てくるかもしれないのではないか。
- ・その方々向けのという事を考えると、段差をなくすなどすれば他の方にも影響を及ぼすからいいと思うが、高齢者に特化となってくると、本当にそういう方々がいるのかどうかは思うところはあある。
- ・僕が聞いた話だと、休まずに長距離を歩くのは段々年と共に無理になってきている。だから休み休みだと10分とか買い物して帰ってくるとかできる。そのところで休むところがなくそういう道だとしんどいという話は聞いたことがある。
- ・車いすに乗っている方で出かけようと計画しても行くところがない。
- ・公園も柵がされていて入りづらい。
- ・こういう風に道路にゆとりがあってベンチがあれば日光浴ができる。5分陽の光を浴びて風に当たるだけで違う。
- ・ささやかな望みだけだけど諦めている人はいっぱいいると思う。
- ・だから仕方ないからデイサービスに行っているのだと思う。ちょっとした時間に行く場所がない。駅前広場に行くだけで、お年寄りの方々は気が済む。そんなささやかな願いを叶えてほしい。
- ・西荻は残念ながら公園があまりない。公園じゃなくて良い。広い道路がありベンチがあり、そこに座り、景色を見るだけで気が済む。

- ・限られた広さでどうすればいいか。無電柱化でゆとりが生まれるのではないか。福島県に行ったときに、まちの建造物、消防署やコンビニまでも色が統一されているのを見て、(杉並は)役所としての覚悟がここまでのあるのかと思った。エリアの特性もあるが、何か取り入れられるものはないか。どこかで統一感がないとコンパクトな町の活性化は難しい。
  - ・回遊性というのは、松庵神社の方の大正昭和の洋館から今の時代の建物があるので、非日常の文化財から、日常の中の文化財として押し出していけるのではないか。
  - ・軽井沢、京都など観光地に見るルール作りはあると良いかなと思う。
  - ・観光資源としての景観保存ということで地元にお金が落ちるようにやっている。では西荻でそれを観光資源としてやるのか、住む人のための景観保護なのか、目的をはっきりさせないとお金が落ちない。
  - ・金太郎飴じゃない(似たような町ではない)という部分を、どこで西荻らしさに結び付けるか。
- ・武蔵野市は電信柱に掲示物がない。電信柱の掲示物は電力会社が決めるのか。本来は住居表示と、〇〇通りだけでいいはずだが、「自転車放置地区」の看板の直径が歩道の邪魔をしている。
  - ・武蔵野市には電柱広告や自転車の看板もないのですっきりしている。西荻はどこまで行っても自転車のための看板が多い。
  - ・吉祥寺はどこにでも通りの名前がある。大正通りなど。子どもが書いた看板もある。住んでいて楽しみが出てくる。西荻にはない。
  - ・吉祥寺は人を集めている町として合うようにまちづくりをしてきたのでそういう工夫があると感じる。こと西荻は人を他所から呼びたいのか、それとも住んでいる住人がその土地で消費活動をするかでまちづくりは変わってくる。人を呼ぶには車両も通らなければいけない。人が歩く場所と車が通る場所を整える作業が必要。  
 界隈に住んでいる人のためのまちづくりならば、また違う考え方になる。  
 昔から区画整理が行われている関係で、道幅は広くないが、回遊性とまではいかないけど一方通行などの整備はされているので、こっちに行けば駅方向でこっちは出ていく方向というまちづくりになっているので、そういうところは独自性がある。
  - ・昔区画整理された、内田秀五郎さんがね。実はもっと車が混む道だと思うが、区画整理がきれいにいっているのでみんな裏道を使って本通りは使わないのが現状。
  - ・それを分からない外の人が環八の抜け道に西荻を使い、土日の西荻信号渋滞が起こる。
  - ・本来人が歩いてほしい道に車が流れ込んでくる。解消していかないと理想の町にならない。のんびり歩きたいのに、他所から来た人が裏道に入ってしまう。自由が丘や都立大学のように面白い店がいっぱいあるのに道が狭いので他所から来た車でぐちゃぐちゃになる。汚い、じゃないけど。
  - ・自由が丘のちょっと入ったところには憩いの場、ベンチなどがある。
  - ・車で行こうと思うとあそこ(自由が丘)は通らない。
  - ・「汚い」と言われた低層の1階部分は公共(開かれたという意味)として利用するとウォークアブル区域に指定され補助金が出る。それによって後継者がいないなど個別の理由でシャッターが閉

まっているところが少し活性化されて、そこでランドデザインがあってデザインが統一されると統一感も生まれる。西荻だからお仕着せがましいものではなく、活性化させるきっかけが必要。せっかくいい場所なのに開かれていないのは残念。

- ・自転車のルールとかマナーの向上があるが、骨董通り、のんびり歩けない。バスが通って…。行政として怠慢だと思う。大学生が道をふさいでいることに対して学校と話さないのか。
- ・通学生だけでも横の道裏道を通してね。
- ・吉祥寺女子高は教職員が考えていると評価している。通学路を変えたり分散したり。
- ・そういう道をつくれればいいのかも。バスの通らない道を誘導して。
- ・パリの例で通学の時間だけ歩行者用道路にするのは良いアイデア。女子大通りはバスは通るし歩道は狭いし人の交通量が多いし、132号線よりそっちが先じゃないかと思うくらい。
- ・町のキャパシティによると思う。姫路の話だとやっぱりまちが広い、余地がある。(西荻は)取捨選択をする町だと思う。道は狭いが区画はきれいなのでゾーン分けをすればそれなりに道ごとの特色は出て面白い。
  
- ・地中化するときれいだけど、道幅にボックスが出てくるので、箱と箱の使えない空間をいかに有効活用するか。植え込みにするか、ベンチを置くか。ベンチが少ないよねという話があったので。
- ・お店が有志でイスを置いていたが、その店が閉まって、結局ベンチが減っている。北口の拡張道路も座るところがない。
- ・社会実験として、132号線の空いてしまった土地をポケットパークにするとかベンチを置いてちょっとした緑地にするとか。やってみてどんな問題があるか。自転車置き場と人が座れるスペースにするとか、まずスタートしてみるのがいいのかなど。
- ・シェアサイクルを増やしてもいい。西荻は少ない。町と町をつなぐもののひとつと思っている。鉄道がメイン、その次がバス。それ以外のもののひとつ。
- ・吉祥寺から西荻は歩けちゃう距離。自転車を使うほどなのか。
- ・西荻は四方八方にお店が広がっているので自転車は便利。
- ・バス、低いバスや広島の特ラム、特ラムを引くのは大変だが自動バスのような乗り降りが自由なバスが四方に行き来すれば、自転車に乗る人も少なくなるのかな。昔の都電のように乗り降りできる。すぎまるのエリアを増やしてちょっと乗り降りできるような。
- ・松庵から五日市街道に自転車に乗ってきて、そのあとはバスに乗る。井草の人が青梅街道まで自転車できて、バスに乗り換えて駅へ行くなど。
- ・通勤も、朝と夕方しか使わないのに、そのためだけに昼間ずっと駐輪場を使うのはもったいない。
- ・駐輪場に止めて、また自転車を取りに戻ってというのも大変なので、サッとそういう乗り物に乗れた方がいい。
- ・駅の周辺だけは価値が高くなるが、その周りに小さい駅のようなものができるとそこが活性化してきて道路の価値が上がる。

- ・原っぱ公園をサブ基地にするなど。自転車がなくとも、そういう風に乗降りできると、自転車の問題も解決。台数が少なくなる。
  - ・一般の車を減らして乗降りできるバスが増えるといいのではないか。
  - ・表向きには、西荻は歩くまちとアピールしておいて、ちょっと行ったら自転車とかそういう乗り物の活用もあるということで差別化できる。車は辞めて欲しい。
- 
- ・都計道の中に外環道の影響はどれくらい考慮されているのかな。
  - ・(外環道が)できた方が通り抜け出来るかもしれない。
- 
- ・阿佐ヶ谷から高円寺の高架下がきれいになっていて、西荻はシャッター通りっぽくなっている。行政と協力してうまく使いたい。
  - ・阿佐ヶ谷の高円寺寄りのアニメストリートは失敗。通り道だけになり夜さみしくて怖い。区民センターができたので区役所も活性化させないといけないと感じて作っていると思う。
  - ・西荻は、国鉄時代に空いているところに店をやらせたが、家賃を上げてきてテナントが定着しない。行政が補助金を出すのか、そうすると商店街がブーブー言ってきたりするけど。
  - ・武蔵境から西はひとつの会社を立ち上げて駅から駅までを商業地域とし自転車置き場を作り、高架下で傘を差さずに駅まで歩ける。
  - ・再開発できるところはやったという感じ。西荻はそんな感じじゃない。
  - ・東小金井は駅前に何もなかった。再開発が実質新規開発になっている。
  - ・方向性として車を使わない時代に入っているのかな。区長も自転車ですもんね。車を使わなくても困らない方向性で何が必要か。
  - ・だからこそ一歩入った住宅街が整っているというわけだから。
  - ・住宅街と商店街の距離が近いのにこれだけ色々ある。八百屋さんなど。
  - ・魚屋は消えたけど八百屋はある。
  - ・駅のロータリーだけでもきれいにならないか。
  - ・北と南が分断されたまま。
  - ・何本かある高架下の道はきれいになったところもあるが、駅前の高架下が問題になる。
  - ・駅直下の高架下はもったいない。タクシーのたまり場になっている。バスの乗り場を全部線路下に移管するのはどうか。
  - ・バスの降り場にタクシーがいて危険。
  - ・カラオケ館前の乗降場をなくすと132号の横の道も渡りやすくなる。
  - ・ロータリーのタクシーの、暗いところを変えたら今の大きさとか何も変えずに、駅前に広場とか作らずに結構いい感じになる。
  - ・そういったところを含めて抜本的に町はこうありたいというものがあるとあの辺もきれいになってくるのではないか。
  - ・パチンコ屋さんが立ち退いた後のサンドラックね。北側の化粧品屋さんとかは昔からあるから難しいところがある。
  - ・その上が深夜しか営業していない美容院。一風変わった個性的な店がある。だけど、歩行者が

- ・通るには汚いし、暗いし、鳩の糞は落ちてくるし。駅前であのようなのはめずらしくないか。
- ・大きい駅だとあるかもしれないが小さい駅では珍しいのかも。
  
- ・富山は駅の下にトラムの停留所を置いて北と南のトラム移動もしやすく、人が歩くのも移動しやすくなった。
- ・南北のトラムを JR と新幹線が分断していて、新幹線を作るときに、JR を上に上げて、トラムを繋げた。
- ・小倉駅はモノレールが乗り入れている、縦移動だけで乗り換えできる。
- ・西荻トラム案っていいと思う。
- ・30 万人以上の都市ならトラムは走っている。10 万人だと走らない。100 万人だと地下鉄。西荻 57 万人だからトラムいけるのではないか。
- ・井草まで行けるといいですね。
- ・今最新のトラムは宇都宮ですね。間もなく開業する。住宅地から市街地の真ん中まで乗り入れる。
  
- ・南北の計画がどうしても多くなってしまふ。
- ・駅前を高層化なのか、中層化なのかで全体的な考え方が変わってくる。
- ・駅前に高い建物があると圧迫感がある。仮に駅から 500m とか建ててはいけなくするようにすると 500m から 1km くらいのところに建てるようになる。その方が不動産的には駅前が良くなる。地価が上がる。1km まで建ててはいけなくすると、今度は 1km までの不動産の価値が上がるので、駅前に建てなくても、価値は広範囲で高くなっていく。
- ・イメージがある。西荻は歩く町をイメージしたいのに駅を降りたら高層ビル、道幅が狭いのは問題。
- ・西国分寺、荻窪など、高いビルが多いので歩いていても広い道で車は通っていくし、歩道は広いがゆっくり歩くという感じではない。喧噪な感じ。
- ・荻窪は、青梅街道があるから息が詰まらないが、西荻はそういう道幅ではないし、これから何十年か掛けて道幅を広げてもどうなっていくのだろうか。
- ・統一感の取れた町は生きていくと思う。
- ・人が集まると高いビルも建ち交通量も増える。西荻窪のまちのイメージをもう少し周辺地域に広げていくイメージでも少し増えるが町のキャパシティが上がって外から人が入ってきても受け止められるようにする。他所から来る人はこの道、歩行者道との区分が出来てくるイメージですかね。
- ・線路沿いというか赤い円の中にある住宅地を忘れてはいけない。
- ・坂のあるまち、川のあるまちだということだ。善福寺川沿いも何かやってもいい。
- ・水害対策ために行政がやってくれたので、プラスアルファで住んでいて気持ちよくなれる場所を。南側は川ではないが、松庵川があったところをまち並みとして。
- ・戦前に建てられた建物も取り壊されているが、やるなら今。
- ・帰ってきた感じがすると。ただいま感がある。

- ・幅広い年齢層というのが確かにすごく町のイメージを表しているのかもしれない。
- ・子どもも増えてきた。自分の世代もそう。戻って来たのか、居心地が良くて来たのか。
- ・人口 57 万人、小さいころ 53 万人だったので 4 万人しか増えていない。